

市民政策提案書

平成 24 年 4 月 26 日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧市教育長 山田 眞久 様

提案者 苫小牧子どもの未来を守る会

提案者代表 古川 慎一

住所

連絡先

苫小牧市市民参加条例第17条第1項の規定に基づき、次のとおり提案します

1 政策提案の名称

学校給食で使用する食材の放射性物質測定検査等に関する市民政策提案書

2 提案の理由

子どもたちを内部被爆から守るのは、大人たちの責任です。このことは、原発の推進、反対、いずれの立場にも関係なく共通することです。

子供たちは、学校給食だけを食べているわけではありませんが、子どもたちが被爆するリスクを少しでも減らすような施策を積極的に展開するのは、公教育を行う行政の任務だと考えます。

また、地方自治体が子どもたちのために独自の基準を設定することは、国が定めた食品基準値を否定するのではなく、より丁寧な対応として国をサポートすることになると考えます。

以上により、子どもたちの内部被ばくを防ぐため、この提案を行います。

3 提案の内容

①学校給食の食材に含まれる放射性物質の量を測定し、公表すること。

②食材の使用ガイドラインの策定

具体的には別紙1

4 予想される効果

子どもたちの内部被ばくを防ぎ、子どもたちの未来が守られる。

5 その他参考資料等

(1) 他の自治体の状況

別紙2

(2) 関連資料

検査機器参考資料（農林水産省）

食品基準値（厚生労働省）

4月の小学校給食献立予定表

児玉龍彦氏 国会スピーチ抜粋 内部被ばくに対する考え方